鉢山・横手山登山コース[登山道]

鉢山・横手山登山（はちやま・よこてやまとざん）コースは、硯川（すずりかわ）バス停を起点とする中級者向け登山道で、バス停からスキーリフトに乗って登山口まで行くことができる。鉢山（はちやま）山頂（2,041m）へ登ったのち、稜線に沿って横手山（よこてやま）山頂（2,307m）へ向かうコースだ。全長 6.5 キロメートル、標高差 625 メートルで、終点までの所要時間は 3 時間。鉢山山頂からは、のぞきバス停方面や渋峠（しぶとうげ）バス停方面へ下るリフトがある。

このコースの見どころの 1 つは渋池（しぶいけ）だ。ここでは、根の間にたまったガスによって浮かぶ、植物でできた浮島を見ることができる。浮島と水辺は食虫植物であるモウセンゴケに所々覆われている。表面が緑と赤色のこの植物は、粘着性のある非常に細かい突起で虫を捕らえたのち、ゆっくりと分解して酵素や栄養分を吸収する。また、秋になると、周囲の木々の紅葉に引けを取らないほど真っ赤になる。

さらに進むと、道は風光明媚な四十八池湿原（しじゅうはちいけしつげん）の縁を通り、鉢山方面へと続く。鉢山山頂から、コースはオオシラビソ（*Abies mariesii*）と根曲がり竹の林の中を下っていき、横手山スキー場ゲレンデへとつながっている。ゲレンデのなだらかな草原には、夏になると、紫色をしたヤナギラン（*Chamaenerion angustifolium*）の小枝と星形の黄色いニッコウキスゲ（*Hemerocallis esculenta*）がぱっと花を咲かせる。